

平成19年3月20日  
原子力安全対策課  
(18-93)  
<10時資料配付>

## 美浜発電所1号機の新燃料輸送について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

美浜発電所1号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力34.0万kW）は、本日、新燃料集合体14体を受け入れた。

#### 1. 輸送年月日

平成19年3月19日7時00分 三菱原子燃料㈱ 発  
(茨城県那珂郡東海村)  
平成19年3月20日7時00分 美浜発電所 着

#### 2. 輸送数量等

|        |     |
|--------|-----|
| 新燃料集合体 | 14体 |
| 輸送容器   | 7個  |

#### 3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

#### 4. 輸送方法

陸上輸送

|                                        |
|----------------------------------------|
| 問い合わせ先（担当：小西）<br>内線2354・直通0776(20)0314 |
|----------------------------------------|

「輸送における安全性について」

1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

2. 輸送容器の概要

型 式 ; M F C - 1 型 . . . 7 個

形 状 ; 円 筒 形

寸 法 ; 長さ約 5 m、外径約 1 m

重 量 ; 約 3. 8 トン（輸送容器だけで約 2. 8 トン）

材 質 ; 鋼鉄製

3. 輸送物の安全確認

本輸送物（A型核分裂性輸送物）については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、独立行政法人原子力安全基盤機構により確認されている。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両の積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施している。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防・警察・自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置を取ることにしており、十分な安全対策が講じられる。

## 『A型核分裂性輸送物の安全基準』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条に基づき国が定めている『A型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

### ①線量当量率

表面で、 $2 \text{ ミリシーベルト／時以下}$   
表面から 1 m 離れた位置で、 $0.1 \text{ ミリシーベルト／時以下}$

### ②表面密度限度

$\alpha$  線を放出する放射性物質の場合、 $0.4 \text{ ベクレル／cm}^2 \text{ 以下}$   
 $\alpha$  線を放出しない放射性物質の場合、 $4 \text{ ベクレル／cm}^2 \text{ 以下}$

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

### ①一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

### ②特別の試験条件

9 m 落下試験、棒上の 1 m 落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することになっている。